

デビットカード（J-Debit）取引規定

1. 適用範囲

次の各号のうちいずれかの者（以下「加盟店」といいます）に対して、普通預金（総合口座取引の普通預金を含みま
す）および貯蓄預金について当行が発行した西日本シティキャッシュカード（オールインワンカード、法人カード、代
理人カードを含みます。以下「カード」といいます）を提示して、当該加盟店が行う商品の販売または役務の提供等（以
下「売買取引」といいます）について当該加盟店に対して負担する債務（以下「売買取引債務」といいます）を当該カ
ードの預金口座（以下「預金口座」といいます）から預金の引落し（総合口座取引規定にもとづく当座貸越による引落
し、カードローン規定にもとづく自動融資による引落しを含みます）によって支払う取引（以下「デビットカード取引」
といいます）については、この規定により取扱います。

- ① 日本デビットカード推進協議会（以下「協議会」といいます）所定の加盟店規約（以下「規約」といいます）を
承認のうえ、協議会に直接加盟店として登録され、協議会の会員である1または複数の金融機関（以下「加盟店銀
行」といいます）と規約所定の加盟店契約を締結した法人または個人（以下「直接加盟店」といいます）
- ② 規約を承認のうえ、直接加盟店と規約所定の間接加盟店契約を締結した法人または個人
- ③ 規約を承認のうえ協議会に任意組合として登録され加盟店銀行と加盟店契約を締結した民法上の組合の組合員で
あり、規約を承認した法人または個人

2. 利用方法等

- (1) カードをデビットカード取引に利用するときは、自らカードを加盟店に設置されたデビットカード取引にかかる機
能を備えた端末機（以下「端末機」といいます）に読み取らせるか、または加盟店にカードを引き渡したうえ加盟店
をしてカードを端末機に読み取らせ、自ら端末機に表示された売買取引債務の金額を確認したうえで、端末機にカー
ドの暗証番号を入力してください。
- (2) 預金の払戻しによる現金の取得のために、デビットカード取引用の端末機を使用したカードの利用はできません。
- (3) 次の場合には、デビットカード取引を行うことはできません。
 - ① 停電、故障等により端末機による取扱いができない場合
 - ② 1回あたりのカードの利用金額が、加盟店が定めた最高限度額を超え、または最低限度額に満たない場合
 - ③ 購入する商品または提供を受ける役務か、加盟店がデビットカード取引を行うことができないものと定めた商品
または役務に該当する場合
- (4) 次の場合には、カードをデビットカード取引に利用することはできません。
 - ① 1回あたりおよび1日あたりのカードの利用金額（西日本シティキャッシュカード規定による預金の払戻金額を
含みます）が当行が定めた範囲を超える場合
 - ② 当行所定の回数を超えてカードの暗証番号を誤って端末機に入力した場合
 - ③ カード（磁気ストライプの電磁的記録を含みます）が破損している場合
- (5) 当行がデビットカード取引を行うことができない日または時間帯として定めた日または時間帯は、デビットカード
取引を行うことはできません。

3. デビットカード取引契約等

前条第1項により暗証番号の入力がされた時に、端末機に口座引落確認を表す電文が表示されないことを解除条件と
して、加盟店との間で売買取引債務を預金口座の引落しによって支払う旨の契約（以下「デビットカード取引契約」と
いいます）が成立し、かつ当行に対して売買取引債務相当額の預金引落しの指図および当該指図にもとづいて引落され
た預金による売買取引債務の弁済の委託がされたものとみなします。この預金引落しの指図については、通帳および払
戻請求書の提出は必要ありません。

4. デビットカード取引の停止、再開

デビットカード取引をご希望されない場合、または停止したデビットカード取引を再度ご希望される場合には、当行所定の申込書により手続きを行ってください。デビットカード取引停止の手続きを行ったときは、当行は当該預金口座に対してデビットカード取引停止の措置を講じます。この手続きの前に生じた損害については、当行は責任を負いません。

5. 預金の復元等

- (1) デビットカード取引により預金口座の預金の引落しがされたときは、デビットカード取引契約が解除（合意解除を含みます）、取消し等により適法に解消された場合（売買取引の解消によりデビットカード取引契約が解消された場合を含みます）であっても、加盟店以外の第三者（加盟店の特定承継人および当行を含みます）に対して引落された預金相当額の金銭の支払いを請求する権利を有しないものとし、また当行に対して引落された預金の復元を請求できないものとしします。
- (2) 前項にかかわらず、デビットカード取引を行った加盟店にカードおよび加盟店が必要と認める本人確認資料等を持参して、引落された預金の復元を加盟店経由で請求し、加盟店がこれを受けて端末機から当行に取消しの電文を送信し、当行が当該電文をデビットカード取引契約が成立した当日中受信した場合に限り、当行は引落された預金の復元をします。加盟店経由で引落された預金の復元を請求するにあたっては、自らカードを端末機に読み取らせるかまたは加盟店にカードを引き渡したうえで加盟店をして端末機に読み取らせてください。端末機から取消しの電文を送信することができないときは、引落された預金の復元はできません。
- (3) 第1項または前項において引落された預金の復元等ができないときは、加盟店から現金により返金を受ける等、加盟店との間で解決してください。
- (4) デビットカード取引において金額等の誤入力があったにもかかわらずこれを看過して端末機にカードの暗証番号を入力したためデビットカード取引契約が成立した場合についても、本条第1項から前項に準じて取扱うものとしします。

6. 規定の準用

本規約に定めのない事項については、西日本シティキャッシュカード規定（以下「カード規定」といいます）、オールインワンカード会員規定により取り扱います。

なおデビットカード取引に利用する場合におけるカード規定の適用については、同規定第6条第1項中「預金の預入れ払戻しおよび振込の依頼をする場合」とあるのは、「デビットカード取引をする場合」に、同規定第9条第1項中「支払機または振込機」とあるのは、「端末機」に、第14条中「支払機・振込機・預金機」とあるのは、「端末機」に、それぞれ読み替えます。

以 上

(2020年4月1日現在)